

# 香川

※2026 年春実施の全国公立高校入試情報は、2025 年 12 月 9 日現在によるものです。

## 1. 日程

[自己推薦選抜]

○検査・面接等

2/3

○合格者発表

2/10

[一般選抜]

●学力検査

3/10

○適性検査・面接

3/11

○合格者発表

3/19

※追検査 3/14・15

## 2. 学力検査

[一般選抜]

国語：50 分・50 点

数学：50 分・50 点

英語：50 分・50 点

理科：50 分・50 点

社会：50 分・50 点

<250 点満点>

※高松工芸のデザイン科・工芸科・美術科・インテリア科，善通寺第一のデザイン科…美術科等適性検査あり

音楽科…音楽科適性検査あり

（適性検査は第 2 志望者を含む。）

○英語聞き取りあり（例年）

○国語課題作文あり（例年）

## 3. 調査書

[評定の記載方法]

○1 年…5 段階（絶対評価）

○2 年…5 段階（絶対評価）

○3 年…5 段階（絶対評価）

[調査書点の算出方法]

3年・実技重視(3年の5教科を2倍, 3年の実技4教科を4倍する)

1年: 9教科×5段階=45点

2年: 9教科×5段階=45点

3年: 5教科×5段階×2倍=50点

3年: 4教科×5段階×4倍=80点

<220点満点>

#### 4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

同等

[判定方法]

段階相関方式(各5段階)

学力検査点と調査書点をそれぞれ「5段階法による人数配分表」により5段階に分け、相関表を作成。これと調査書の学習の記録以外の記載事項及び面接等を考慮し、総合的に選抜する。

※第2志望者がある場合は、定員を分割して判定。

・大学科内に小学科が1つ…定員の90%を第1志望者から選ぶ。残りの10%は第1志望者と第2志望者を同等に扱って選ぶ。

・大学科内に小学科が2つ以上…定員の60%を第1志望者から選び、残りの30%は、その60%に入らなかった第1志望者とその小学科が属する大学科からの第2志望者を同等に扱って選ぶ。残りの10%は、他の大学科(他の課程を含む)からの第2志望者も加え、第1志望者と第2志望者を同等に扱って選ぶ。

※全国募集の選抜では、はじめから第1志望者と第2志望者を同等に扱って選ぶ。

小豆島中央の特進コースと普通コースは、それぞれ一つの小学科とみなす。

また、くくり募集をする場合は、それらを一つの小学科とみなす。

#### 5. 推薦入学等

■自己推薦選抜

大多数の高校・学科で実施。

自己PR書を提出。

音楽科は、音楽科適性検査選択課題選択届出書も提出。帰国生徒等は、海外在住状況説明書が必要。

[検査内容]

面接、《作文、適性検査、総合問題、その他のどれか1つ以上》

※総合問題は、国・数・英の3教科・45分。

※適性検査はデザイン科、工芸科、美術科の芸術系学科と音楽科で実施。

※その他では、R8年度では、自己PRと質問を行う。

[定員に対する比率]

○普通科, 理数科, 文理科…5~30%以内

○音楽科, 美術科…50%以内

○その他の学科…30~50%以内

## 6. 備考

県立高の普通科・理数科の通学区域は，第 1・第 2 学区の 2 学区制。それ以外の学科は，県下一円。また，高松第一の普通科は通学区域が決まっているが，音楽科は県下全域。一般選抜で，全員に面接を実施。

同一校内に 2 つ以上の小学科がある場合(くくり募集をする場合はそれらを一つの小学科とみなし，小豆島中央の特進・普通科コースはそれぞれ 1 つの小学科とみなす)は，第 2 志望を出願できる。

三本松・観音寺第一の普通科と理数科，農業経営の全科は，くくり募集を行う。

※音楽科では音楽科適性検査選択課題選択届出書を提出。

※帰国生徒等は，海外在住状況説明書が必要。

※ほとんどの高校・学科で，求める生徒像を公表して全国から生徒募集をする。合格者数の上限は，募集定員枠外として，各科，自己推薦・一般選抜を合わせて 1～12 人。

※追検査等

やむを得ない理由で学力検査等を欠席した者のうち，その理由が正当と認められた者に対して追検査(追学力検査，追適性検査，追面接のすべてまたはいずれか)を実施する。ただし，追学力検査は，5 教科すべての学力検査を欠席した者について行う。

[通学区域]

小豆島中央を除いて，普通科と理数科，高松第一の普通科には，定められた通学区域がある。